

『生理学問題集 (CBT 準拠)』

(第1版第1刷, 第2刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

- p.81 問題185の解説 下から1行目
 - (誤) 房室結節の伝導速度は0.2m/秒程度であり、
 - (正) 房室結節の伝導速度は0.02~0.05m/秒程度であり、

『生理学問題集 (CBT 準拠)』

(第1版第1刷)

正誤表

本書におきまして、下記の通り記載内容に誤りがございました。訂正してお詫びいたします。

●問題作成者一覧

(誤) 酒井 啓 大阪市立大学大学院医学研究科分子細胞生理学 研究員
椎橋実智男 埼玉医科大学医学部生理学 教授

(正) 酒井 啓 大阪市立大学大学院医学研究科分子細胞生理学 研究員
佐藤元彦 愛知医科大学生理学講座 教授
椎橋実智男 埼玉医科大学医学部生理学 教授

●p.139 問題311

(誤) 正解 D
(正) 正解 B

●p.150 問題335

(誤) D. 細胞膜からのアラキドン酸遊離抑制
(正) D. 細胞膜からのアラキドン酸遊離促進

解説

- (誤) 糖質コルチコイドは、アラキドン酸遊離を抑制するので、シクロオキシゲナーゼの基質（アラキドン酸）が減少し、プロスタグランジンの産生が減少する。そのために炎症が抑制される。いわゆるステロイド薬はこの作用を利用して抗炎症薬として用いられる。
- (正) 糖質コルチコイドは、ホスホリパーゼ A2 活性を抑制してアラキドン酸の細胞膜からの遊離を抑制する。また、シクロオキシゲナーゼの合成抑制を介し酵素活性を抑制する。これらの結果、炎症反応に関与する多くのプロスタグランジンの産生が減少する。また、糖質コルチコイドはヒスタミン遊離も抑制する。これらの結果、炎症反応に係る。